

編 集 後 記

- ☆ 本号も、前号と同じく、バラエティにとむ原稿を編集することができた。
- ☆ 連載原稿が増大してきており、次号にも新しい連載原稿が集まっているのであるが、増頁が不可能のため、執筆者、読者に御了承をお願いしたい。
- ☆ スーヴェルさんは、去年当館にも見え、当館の蔵書を調査しました。その御縁で頂いた原稿ですが、日本人むけでないため、しかも具体的でないため、理解に困難を感じるが、このような内容を本国で発表できるという点に考えさせるものがある。しかし、日本の学者のために、具体的な教示をも期待したい。
- ☆ 次号には、当館所蔵露文図書などを掲載する予定である。(朝倉)

☆ 編集委員

- | | |
|---------------|-------------------|
| 泉 昌一 (一般参考課) | 相馬 民子 (経済社会課) |
| 朝倉 治彦 (同) | 甲斐原綾子 (科学技術課) |
| 小山 騰 (同) | 中林 隆明 (アジア・アフリカ課) |
| 沢西 良子 (人文課) | 鈴木 尚子 (索引課) |
| 山口美代子 (法律政治課) | |

参考書誌研究 第17号 昭和54年2月1日発行

編 集 国立国会図書館参考書誌部
発 行 国立国会図書館
東京都千代田区永田町1の10の1 (郵 100)
電 話 581-2331 (代)
印 刷 株式会社 第一印刷所

本誌に掲載された記事を全文または長文にわたり抜すいして転載されるばあいには、事前に参考書誌部一般参考課へ連絡してください。